

## 中国韓国訪問金沢市代表団の訪問概要について

### 1. 目的

今回の訪問は、蘇州市における姉妹都市提携30周年記念事業や全州市における市長との懇談等を通じて姉妹都市交流のさらなる進展をはかり、さらには日中韓3か国地方政府交流会議での事例発表や観光セミナーを通じて金沢の魅力を発信することを目的としたものです。

### 2. 日程

平成23年8月25日（木）～9月1日（木）

### 3. 訪問先の内容

#### (1) 中国・蘇州市（8/25～8/27）

##### ①記念植樹

蘇州市の花である「木犀」を植樹しました。

##### ②合意書の締結（別紙）

環境・ビジネス面での交流を推進し、環境保護についての協力等について姉妹都市との間で初めて、合意いたしました。

##### ③企業の経済懇談会

蘇州国家ニューハイテク産業区（新区）や商務局などの幹部らへ金沢青年会議所のメンバーによる共同事業の提案を行いました。

##### ④金沢市特別名誉市民証を贈呈

閻立（イェン・リー）市長へ23人目となる金沢市特別名誉市民証を贈呈しました。

#### (2) 韓国・全州市（8/28～8/29）

##### 宋河珍（ソン・ハジン）市長との懇談

- ・ 伝統的環境の保存・活用に向けた相互交流をさらに推進していくことを確認しました。
- ・ 文化・スポーツ・青少年など多方面での市民交流を活発化させることで合意しました。

#### (3) 韓国・全羅北道（8/29～8/30）

##### 日中韓3か国地方政府交流会議での事例発表

日本、中国、韓国の地方政府間の国際交流、協力をより一層促進することを目的に（財）自治体国際化協会などが主催して開催される会議で、3か国の政府関係者及び地方自治体の首長ら532名が参加しました。

山野市長は、「低炭素グリーン成長のための事例及び施策」とのテーマの事例として「人と自然に優しいまち・金沢」と題して発表し、金沢のまちづくりの取り組みとまちの魅力を発信しました。

#### (4) 韓国・ソウル市、仁川市（8/30～8/31）

##### 観光セミナーinソウル

現地旅行代理店やマスコミ関係者22人に対し、山野市長は金沢の魅力を紹介しました。また仁川文化財団の姜光代表理事を訪問し、事業のさらなる連携を提案しました。

### 4. 今後の展開

両市の訪問を通じて、年月をかけて継続してきた、さまざまな交流を通じて築き上げられる、都市間の絆の固さ、大切さをあらためて感じることができました。

そこで、今後とも、このような各姉妹都市との関係を大事にしながら、一つ一つの交流事業を丁寧に行くと同時に、姉妹都市交流における行政の重要な役割として、市民や民間団体が、さらに活発な交流を行えるよう、環境の整備に努めてまいります。

●蘇州市と金沢市姉妹都市交流に関する合意書（日本語）

## 蘇州市と金沢市

### 姉妹都市交流に関する合意書

日本国石川県金沢市と中華人民共和国江蘇省蘇州市とは、1981年6月13日に正式的に姉妹都市関係を締結し、さらに2002年に友好交流を深める合意書を調印した。

両市は姉妹都市提携30周年を迎えるにあたり、日中共同声明と両市の友好協議の精神に基づき、引き続き各分野の協力と交流を進めるため、お互いの協議を通じて、以下の合意に達した。

1. 引き続き両市の友好交流を促進する。毎年相互に代表団を派遣し、行政、議会、スポーツ、教育、青年、社会福祉など各分野の交流を推進する。
2. 文化交流の推進について協力し合う。蘇州の昆曲、刺繍、玉彫と金沢の能楽、金箔、友禅などの公演、展覧などの形式で、お互いの伝統文化や伝統工芸の紹介を推進する。
3. 積極的に経済的な協力を推進する。新エネルギー、環境保護、ゴミ処理などの産業交流などに向けて情報交換を促進するなど、両市の企業が姉妹都市への進出、投資をする際に、相互に支援する。
4. 観光分野での協力を促進する。両市市民が交流と相互理解を深めるために、お互いの都市に観光訪問することを相互に支援する。

この協定の証として、この証書2通を作成し、両市長が署名したものを双方が一通ずつ保有するものとする。

金沢市市長  
期日

山野 之義

2020年8月26日

蘇州市市長  
期日

朱 三

2020年8月26日

## 苏州市与金泽市 进一步深化友城合作备忘录

中华人民共和国江苏省苏州市与日本国石川县金泽市于1981年6月13日正式缔结友好城市关系，并于2002年签订了加强友好交流的意向书。

值缔结友城30周年之际，本着中日两国建交公报和两市结好协议的精神，双方经过平等协商，就继续推动各领域的合作与交流达成以下协议：

一、继续加强友好往来，每年定期派遣代表团互访，开展政府、议会、体育、教育、青年、社会福利等对口交流；

二、鼓励开展文化交流，以演出、展览等形式协助推广和介绍对方的非物质文化遗产，如苏州的昆曲、苏绣、玉雕与金泽的能乐、金箔、友禅等；

三、积极深化经贸合作，支持有实力的企业赴对方城市投资，促进新型能源、环境保护、垃圾处理等产业交流；

四、大力推进旅游合作，鼓励两市市民赴对方城市旅游观光，加强沟通与了解。

此备忘录由中、日两种文字书写，具有同等效力。

苏州市市长

日期：

2011年8月26日

金泽市市长

日期：

2011年8月26日

●写真



姉妹都市提携30周年記念植樹



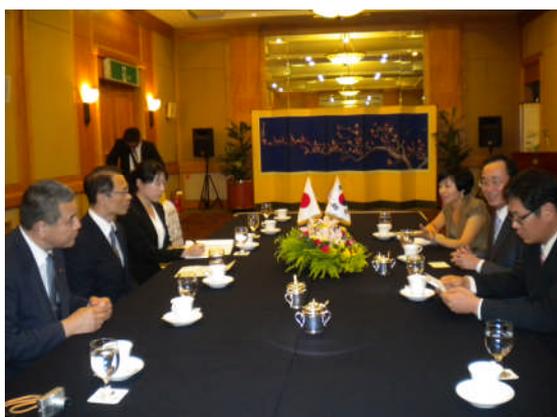
蘇州—金沢 経済懇談会



金沢市特別名誉市民証を贈呈



合意書の締結



全州市長及び全州市議会議長との懇談



第13回日中韓3か国地方政府交流会議

●掲載新聞

(2011年8月27日付 蘇州日報 第1面)

**蘇州と金沢友好締結 30 周年**  
**日本金沢市政府代表団蘇州訪問 閻立と山野之義一行会見**

今年は蘇州市と日本金沢市姉妹都市締結 30 周年である。両市の友好関係を深め、相互交流と協力をさらに発展させるため、昨日、蘇州市政府の招待に応じ、山野之義市長が金沢市政府代表団一行を率いて蘇州市を訪問し、両市姉妹都市締結 30 周年祝賀イベントに参加した。閻立市長は南林飯店で訪問団と会見した。会見時、高翠霞副市長も出席した。

閻立は金沢訪問団に熱烈な歓迎を表した一方、蘇州の経済社会発展状況を簡単に紹介した。閻立の話によると、蘇州は現在 42 の姉妹都市があり、金沢市は蘇州市が最も早く締結した姉妹都市の一つである。両市姉妹都市締結の 30 年間は蘇州市改革開放政策を実施して、経済が急速に発展した 30 年でもある。30 年の間、蘇州と金沢は友好的な関係を保ち、経済、文化、教育など各分野で活発な交流が行われた。現在、蘇州には外資企業 2 万社もあり、その中で日本企業が一番多く、2 千社もある。また、閻立は中日両国の二千年余の友好交流の歴史の上で、更に相互理解と友好交流を促進し、多くの日本のお客様が蘇州を訪問することを期待すると述べた。

今回 30 周年記念イベントに参加する金沢市政府代表団は百人近くも来た。山野之義は、金沢市と蘇州市は共通するところが多く、両市市民の間に厚い友情を有している。これから、環境、経済、社会福祉、観光などの分野で友好交流と相互協力を促進し、両市市民の友情を深めることを希望していると述べた。

会場では、双方は『蘇州市と金沢市姉妹都市交流に関する合意書』を調印し、両市の友好関係を深め、引き続き各分野の協力と交流を進めることを約束した。その後、山野之義が閻立に「金沢市特別名誉市民」証書とメダルを贈呈した。

昨日午前中、高翠霞と山野之義一行が盤門国際友好苑で記念植樹活動を行った。双方が永く続く友情の象徴—金木犀の木を一緒に植えた。

(2011年8月27日付 蘇州日報 第2面)

**夢が月のように円満になるように**  
**金沢市政府代表団蘇州日報社訪問**

今年は蘇州市と金沢市姉妹都市締結 30 周年であり、蘇州日報社と北國新聞社姉妹紙締結 19 周年でもある。昨日午後、金沢市山野之義市長が団長である金沢市政府代表団は蘇州日報社を訪問し、蘇州日報社社長劉文洪と会見した。

北國新聞社は日本金沢市で影響力の大きい新聞紙で、発行範囲は北陸三県全域に至る。1992 年以来、蘇州日報社と北國新聞社は毎年、代表団、記者訪問団を相互派遣し、友好交流活動を行ってきた。

昨日の午後、山野之義一行は新聞社ビルの模型、新聞社史料館などを見学し、1949 年の初刊の『新蘇州報』（『蘇州日報』の前身）からデジタル新聞まで、府前街に位置した新聞社旧所から現在の現代的な新聞社まで…、蘇州日報社の数十年間の発展を高く評価した。山野之義市長は署名ノートに「夢」という字を揮毫した。これは、両市民が夢を抱き、努力す

ることが大切だということ。

劉文洪は日本からの訪問客に対し、烈々な歓迎を表したほか、蘇州日報社を簡単に紹介した。劉文洪は、山野市長が蘇州と金沢姉妹都市締結 30 周年の節目に蘇州日報社を訪問することはとても有意義なことだと述べた。30 年来、両市間で活発な交流が行われてきており、蘇州日報社と北國新聞社も姉妹紙締結 19 年を迎え、両社は毎年のように訪問団を派遣している。蘇州日報社は北國新聞社との交流を通し、たくさんの貴重な経験をした。もうすぐ中国では中秋節だから、双方の夢が中秋節の月のように円満になることを願っていると述べた。

山野之義は蘇州日報社の熱烈な接待に対し感謝の意を述べた。また、北國新聞社と蘇州日報社の友好交流は両市民間交流のモデルであると感じており、両市間における経済、文化、観光の面で交流を深めると同時に、民間交流も深めていきたいと述べた。

(2011年8月29日付全北日報7面)

### 日本金沢市長一行 全州市訪問

全州市と国際姉妹都市提携をしている日本金沢市の山野之義市長や金沢市議会の上田章議長をはじめとする代表団一行10名が28日午後全州を公式訪問した。

今回の訪問は30日、扶安郡のデミョンリゾートにて開催される第13回日中韓地方政府交流会議の参加を兼ね合わせたもので、訪問団を率いた山野市長の金沢市長就任後初めてとなる公式訪問である。

山野市長一行はこの日、宋河珍(ソン・ハジン)全州市長が主催する歓迎晩餐会の参加をはじめ、29日には韓屋村を視察、続いて全州市役所公式訪問、午後には全州市議会議長団との交流の後、道立国楽院、セマングムなど道内の主要な施設を見学する予定である。

去る2002年、交流協定を締結した全州市と金沢市は、スポーツ、工芸、芸術など文化部門を中心としての交流を強化しつつある。

キム・ソングン記者 yaksj@

(2011年8月29日付全州毎日1面)

### 日本金沢市代表団、全州市訪問

全州市と国際姉妹都市提携をしている日本金沢市の山野之義市長と金沢市議会の上田章議長をはじめとする代表団一行が28日、2日間の日程で全州を公式訪問した。

この訪問は30日、扶安郡のデミョンリゾートにて開催される第13回日中韓地方政府交流会議の参加を兼ね合わせたもので、訪問団を率いた山野市長の金沢市長就任後、初めてとなる公式訪問であるとのこと。

一行の到着日、宋河珍(ソン・ハジン)市長が主催する歓迎晩餐会に参加するのをはじめ、29日には韓屋村視察に続き、全州市役所公式訪問、午後には全州市議会議長団との交流の後、道立国楽院、セマングムなど道内主要施設の見学など忙しい日程が予定されている。

全州市と金沢市は両市間での交流だけではなくスポーツ、工芸、芸術などといった文化部門を中心とした市民交流にも注目に値する成果をあげ、全国自治体の中でも日韓姉妹都市交流の優秀事例として上げられており、9月末には金沢市議会代表団の全州訪問も予定されている。

一方、金沢市は日本国内でも文化都市として名高く、ところどころに古い文化財を大変よく保存しており、食文化、工芸、伝統家屋群、伝統芸能など多様な固有文化を継承・発展させてきた都市である。韓国の代表的な伝統文化都市全州市がモデルとして持続的な交流活動を展開している。

ジョ・セヒョン記者

(2011年8月30日付新全北新聞1面)

## 日中韓地方政府全羅北道にて集う 扶安にて交流会議…史上最大532名参加「We are the Asia」宣言

日中韓の地方政府が一堂に会して協力と相互発展のため力を合わせることにした。

全羅北道と全国市道知事協議会が主催する「第13回日中韓地方政府交流会議」が29日扶安デミョンリゾートにて開幕した。

「地域の特色を生かした東北アジアの地方政府交流活性化」をテーマとしたこの交流会議には韓国230名、中国227名、日本75名が参加するなど交流会議史上最大である532名が参加し、全羅北道に対する関心の高さがうかがわれた。

キム・ビョンギ全北大教授と舞踊団の書芸パフォーマンスで始まった今日の開会式では、全州ビビンバを素材としたビビンバパフォーマンスもくり広げられ人目を引いた。続いて全北道立国楽院の国楽公演、ウソク大学のテコンドーダンスで韓国と全羅北道の粋な文化を会議の参加者らに伝えた。

30日の本会議では、金完柱(キム・ワンジュ)道知事と黄錫強江蘇省外事弁公室副主任、伊藤祐一郎鹿児島県知事など3か国の代表が「地域の特色を生かした東北アジアの地方政府交流活性化」をテーマとして発表する。

続いて7つの地方政府が地方政府間交流を通じた地域経済発展事例及び低炭グリーン成長発展のための事例を共有する予定である。

また、去る3月に東日本大震災でもっとも大きな被害をうけた宮城県の村井嘉浩知事が出席し、「災害の予防及び復旧のための自治体の取り組み」をテーマとした特別討論会の場も設けられた。

金泰謙(キム・テギョム)全国市道知事協議会事務総長は、開会の辞で、「日中韓3か国の地方政府が友好協力関係を基盤として、環太平洋時代における主導的な役割を担うことができる契機が生まれることを望む」と、語った。

金完柱(キム・ワンジュ)知事は、開会の辞で、「日中韓3か国の地方政府間の交流活性化のために情報交換と白熱した討論が繰り広げられるよう期待する」と述べた。

これに対して馮佐庫中国人民対外友好協会副会長は「複雑な国際情勢の中、日中韓3か国は相互理解を深め、信頼関係と協力体制を強化し東北アジア及び世界平和と繁栄に貢献しなければ、と答えた。

一方、開会式では中国の馮佐庫副会長をはじめ、江蘇省外事弁公室の黄錫強副主任、河北省対外友好協会の叶長青執行部会長、安徽省宣城市の韓永生副市長、日本自治体国際協会の木村陽子理事長、鹿児島県の伊藤祐一郎知事、千葉市の熊谷俊人市長、金沢市の山野之義市長などが出席した。

コ・ミンヒョン記者 gom21004@sjbnews.com